

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	信頼性工学利用小委員会	主 査 名：小檜山雅之 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	性能設計や防災で重要性が増す信頼性工学の概念の理解と普及を会員に促す。 ・2013 年度：建築物荷重指針の第 2 章の改定作業。動向調査研究の準備。 ・2014 年度：建築物荷重指針改定版の刊行と講習会の開催。動向調査研究。 ・2015 年度・2016 年度：動向調査研究の成果の公表。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：小檜山雅之 (慶應義塾大学) 幹事：日下彰宏 (小堀鐸二研究所)・高田毅士 (東京大学) 委員：石川孝重 (日本女子大学)・井戸田秀樹 (名古屋工業大学)・佐藤玲圭 (鈴与三和建物)・高橋徹 (千葉大学)・趙衍剛 (神奈川大学)・平田京子 (日本女子大学)・村地由子 (スイス・リー・インターナショナル・エスイー)・森保宏 (名古屋大学)・足立高雄 (大林組)・糸井達哉 (東京大学)・山崎賢二 (竹中工務店)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築物荷重指針第 2 章改定作業 WG：2014 年度に改定版刊行予定の「建築物荷重指針・同解説」のうち、直上委員会が担当する第 2 章の改定作業を行う。 信頼性工学動向調査研究 WG：確率・統計手法やリスクの概念の理解と普及を会員に促すため、信頼性工学に関する最新動向の調査・研究を行い、その成果をセミナー等により公表する。	
2014 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s28/

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 建築物荷重指針・同解説 (荷重運営委員会傘下 7 小委員会で共同)
講習会	1. 2014 年度日本建築学会支部共通事業「建築物荷重指針」改定講習会 (荷重運営委員会傘下 7 小委員会で共同) 参加者数 1,114 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「建築物荷重指針・同解説」(2015 年版)の第 1 章・第 2 章を他の章と連携し改定。講習会を開催。 2. 「建築物荷重指針を活かす設計資料 1」の第 1 章を執筆。 3. 信頼性工学に関する動向調査研究を実施。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 「建築物荷重指針を活かす設計資料 1」の刊行に向けた作業 2. 刊行物の販売促進